

第6節 環境で貢献する

1 国際的な環境協力・貢献の推進

1-1 姉妹友好提携先に対する環境協力の推進

平成25(2013)年8月19日に三重県とブラジル・サンパウロ州の姉妹提携40周年を受け、三重県知事とサンパウロ州知事との間で、①教育、②環境ならびに気候変動、③商工業、④観光の4つの分野において協力関係を進めていく意思を表明した「意思協定」が締結されました。この協定を受け、民間主体による環境分野での連携・協力の促進を図ることを目的に「みえリーディング産業展2015」会場において、「ブラジル環境ビジネスセミナー」を開催しました。

2 関係機関との協力

2-1 公益財団法人国際環境技術移転センターによる環境保全活動

環境問題の中で、とりわけ大気、水質等の環境汚染問題が顕著化している諸外国に対して、四日市地域を中心としてわが国に蓄積された環境保全に資する産業技術を移転するため、産業界、学界等の全面的な支援を得て、公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT)を設立し、地球環境保全に資する産業技術の移転を進めています。

平成27(2015)年度においても、ICETTでは国、地方自治体、産業界、学界等の広範な支援・協力を得て、環境保全・改善に関する研修・技術指導、調査・研究、交流・連携、情報提供・普及啓発等を行いました。また、これらの事業の連携によって、諸外国の特性に応じた円滑な技術移転の推進を図りました。

2-2 公益財団法人国際環境技術移転センターの機能強化

公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT)は、環境保全・改善のための活動を行うとともに、近年、環境保全技術を有する日本企業等の海外展開支援に関連する事業を実施しています。

平成27(2015)年度は、伊勢志摩サミットの

開催を契機として、海外ネットワークを強化し環境技術のさらなる海外移転を図るため、三重県との共催でASEAN諸国の駐日大使等を招聘して環境フォーラムを開催しました。

また、ICETTには、日本および欧米諸国等が加盟する気候変動防止活動を推進する組織(CTI)の事務局があり、地球温暖化問題の改善に向けた技術移転、情報交換等を支援しています。

2-3 日本まんなか共和国(福井・岐阜・三重・滋賀)連携の実施

日本のまんなかに位置する4県が、交流・連携による環境重視の地域づくりをめざし、産業廃棄物の不法投棄対策として、廃棄物担当監視取締連絡調整会議により情報交換を行い、県境路上検査を共同で実施しました。

3 研究機関との連携

3-1 保健環境研究所における調査研究等

地球規模の環境問題の解決に向け、保健環境研究所では公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT)等からの依頼により発展途上国研修員の研修受入を行っています。